



テーマ『ロータリーを実践し、手をつなごう』

第51代会長 小川 泰正

2016-17年度（51年度）所感

私が第51代会長として就任いたしましたのは、今から9年前のことになります。当時を振り返りますと、クラブの活性化と会員相互の絆をより強固にすることが大きな課題でした。

時代の変化に対応しながらも、ロータリーの原点である「奉仕の理想」をどのように実践していくかを、理事・会員の皆様と共に真剣に考えた一年でありました。特に、地域社会とのつながりを深める活動や、若い世代へのロータリー精神の継承を意識した事業を推進したことが印象に残っています。これらの取組みを通じてクラブの一体感がより高まり、次の世代へと確実にバトンをつなぐ礎を築けたのではないかと感じております。

特に印象に残っているのは、静岡県にある米山梅吉記念館への訪問旅行です。ロータリー精神の原点に触れ、改めて「奉仕とは何か」を考える貴重な機会となりました。

また、佐渡南ロータリークラブとの親睦会では遠方にもかかわらず、多くの会員が参加し、互いの友情とロータリーの絆を深めることができました。さらに、皇居見学では、普段なかなか得られない貴重な経験を通じて、クラブとしての一体感と誇りを感じたことを今も忘れられません。

こうした一つひとつの活動を通じて、会員同士の信頼と連帯がより強まり、次の世代へとクラブの精神をつなぐ礎を築けたのではないかと感じております。今後共地域社会に貢献し、友情と奉仕の灯を輝かせ続けていくことを心より願っております。

活動記録

